

令和6年度事前評価結果(重点研究)

研究課題名 (期間)	代表試験場	研究評価委員会による評価結果						総合評価		
	分担試験場 (道総研)	緊急・ 必要性	研究計画の適切性			成果の活用 の 可能性	評 価	意 見	評 価	意 見
	共同研究機関 (外部)		研究目標 および研究項目の 妥当性	計画の科学的妥当 性	実施体制 の妥当性					
ゲノミック選抜を活用した新たな多収大豆品種開発手法 (R7-R9)							A		A	より多収な大豆を開発する必要性は高く、令和7年度から実施する。評価委員会の意見も踏まえて取り組むこと。
十勝農業試験場		3.9	3.2	3.2	3.6	3.6				
中央農業試験場、 上川農業試験場、 北見農業試験場、 道南農業試験場										
畑作・露地園芸圃場におけるIoT機器とリモートセンシングを活用した灌水適期・適量通知システムと可変灌水技術の開発 (R7-R9)							A		A	適正で合理的な灌水技術の必要性は高く、令和7年度から実施する。評価委員会の意見を踏まえて取り組むこと。
十勝農業試験場		3.8	3.1	3.4	3.3	3.4				
北見農業試験場										
乳牛生産寿命延長のための育成雌牛の目標成長速度 (R7-R9)							B		B	令和7年度から実施する。 評価委員会の意見を踏まえて取り組むこと。
酪農試験場		2.9	2.6	2.8	3.1	3.0				
北海道大学										
養鶏場における感染症リスク低減のための野生動物の侵入防止対策の提案 (R7-R9)							B		B	令和7年度から実施する。 評価委員会の意見を踏まえて取り組むこと。
畜産試験場		3.9	2.8	2.9	3.2	3.6				
エネルギー・環境・ 地質研究所										

令和6年度事前評価結果(重点研究)

研究課題名 (期間)	代表試験場	研究評価委員会による評価結果						総合評価		
	分担試験場 (道総研)	緊急性・ 必要性	研究計画の適切性			成果の 活用 の 可能性	評 価	意 見	評 価	意 見
	共同研究機関 (外部)		研究目標 および研究項目の 妥当性	計画の科学的妥当 性	実施体制 の妥当性					
アサリ漁獲機械の小型化および社会実装に向けた研究 (R7-R9)							B	本研究を公的機関が取り組む必要性をより明確にした上で研究を進めること。目指す社会実装に向けて、実装先の要望を踏まえた目標設定となるよう、よく検討すること。開発技術の広い活用のためにも、工業試験場との連携といった研究実施体制を再検討すること。	B	水産資源の適正管理と持続的利用に資する取り組みであり、令和7年度から実施する。評価委員会の意見も踏まえて取り組むこと。
釧路水産試験場										
道産巻貝類の種分類に関するアーカイブの構築 (R7-R9)							B	最終目標への到達に向けて優先順位をつけて段階的に研究に取り組むべきであり、本研究課題では形態的特徴のアーカイブ構築へ注力することが望ましい。同時に、サプライチェーンを構成する各主体の認識向上・アーカイブの利用方法や維持についてあらかじめよく詰め、研究計画を再検討すること。	B	令和7年度から実施する。評価委員会の意見を踏まえて取り組むこと。
栽培水産試験場										
釧路水産試験場、 網走水産試験場、 稚内水産試験場										
熊本大学、滋賀県立大学										
道産材を用いたCLTの土木分野での利用技術の開発 (R7-R9)							B	JAS格外ラミナの供給体制や、実用化を図る土木用CLTにおける位置づけについてよく整理した上で研究を進めること。土木用CLTの耐久性評価等の利用技術における開発目標は、研究期間内に達成しうる明確なものとなるよう精査し、試験計画や研究実施体制を再検討すること。製造側・利用側の双方へと、成果の効果的な普及を図ることが望ましい。	A	道産材の用途拡大と価値向上に向けて必要な取り組みであり、令和7年度から実施する。評価委員会の意見も踏まえて取り組むこと。
林産試験場										
北海道大学、物林株式会社										
持続的な地熱・温泉資源の開発・利用に向けた有珠山周辺の資源動態イメージング (R7-R9)							B	本研究において有珠山地域が対象となる意義、ならびに全道展開に向けた方針を明確にすること。また、持続的な地熱・温泉資源開発が実現できるよう、具体的な成果活用方法、道総研の支援の仕方を明確にすること。その上で、研究期間内に到達しうる目標および試験計画となるよう、収集データや解析について見直すこと。	B	令和7年度から実施する。評価委員会の意見を踏まえて取り組むこと。
エネルギー・環境・地質研究所										
道立衛生研究所、北海道大学										